

●発行：長岡市 編集：広報課
〒940-8501 新潟県長岡市幸町2の1の1 TEL0258-35-1122 (代表)
<http://www.city.nagaoka.niigata.jp>



平成23年誕生! “ひとの和と輪が広がる” 市民協働型シティホール!

◆まとまりました、新しい市役所プラン

- 市民協働型シティホールは、多目的ホールである「公会堂（アリーナ）」、雨や雪の日でも使える「屋根付き広場」、そして「市役所」が一体となった**“市民との協働の場”**をつくる全国初の取り組みです。
- 長岡市は、市民協働型シティホールを中心とした新しい市役所のあり方について、市民・有識者で構成する「新しい市役所検討市民委員会」や多くの市民のみなさんから寄せられたご意見・ご提言を踏まえ、「新しい市役所プラン」をまとめました。
- プランの合言葉は、**“ひとの和と輪が広がる市役所”**。長岡市が目指す3つの新しい市役所の姿と、それを実現するための取り組みを定めています。

プランの詳細は、長岡市ホームページや市役所1階市民情報ラウンジ、各支所地域振興課、各図書館などで閲覧できます。

●プランについてのお問い合わせ●
行政管理課 TEL 39-2208

“市民協働型シティホール”を中心に、だれもが集まりやすく、利用しやすいまちなかに市役所の本庁機能を集約配置し、より便利で開かれた、次世代そして全国に誇れる新しい市役所を実現します。

◆みんなが気軽にまちづくりに参加!

市民の集まる場所に、市長や議員、市職員がいて、みんなが気軽にまちづくり談義に花を咲かせる「協働の広場」を実現

◆いつでもみんなが主役のハレの場!

冬場でも快適に憩える場、さまざまなイベントのステージとなり、笑顔・歓声・拍手を生み出す「ハレの場」を実現

◆市役所が便利で身近に!

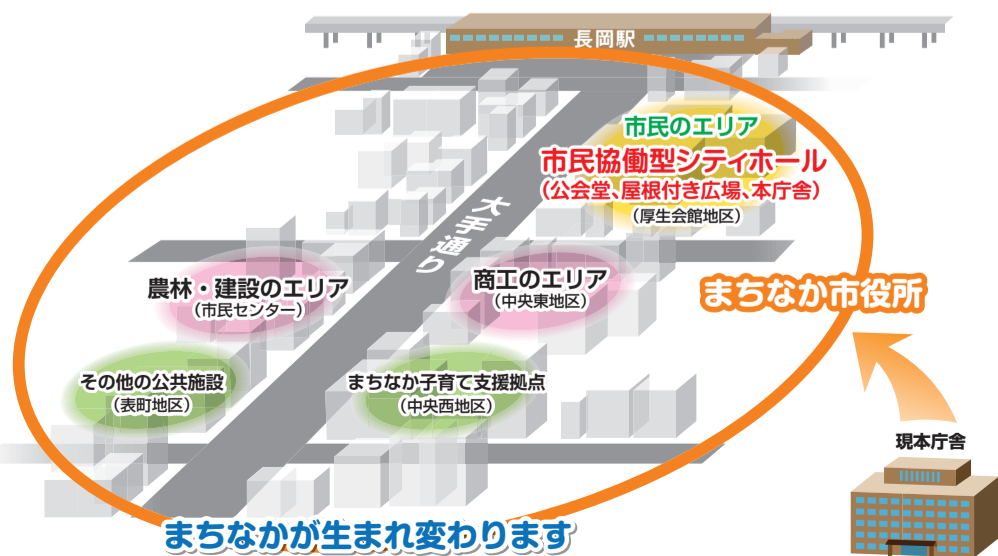
たらいまわしのない、親切で早く、わかりやすい窓口サービスで、より身近で信頼される市役所を実現

◆市民の安全をしっかり守る!

「日本一災害に強いまち」にふさわしい防災拠点を確立し、災害時の司令塔としての機能を発揮

◆まちなかににぎわいが戻る!

まちなかに来る人、住む人、働く人が増え、長岡の顔（シンボル）にふさわしいにぎわいを実現



新しい市役所プランの概要

市役所移転の理由

「十分な耐震性能を備えた防災拠点」「市民・職員ともに便利な庁舎配置」「まちなかのにぎわい創出」など、長岡市が抱えるさまざまな課題。これを一挙に解決するには、市役所の本庁機能をまちなかに移すことが最も効果的・効率的です。

新しい市役所の姿

“市民協働型シティホール”（以下「シティホール」という）を中心に、「市民により便利な市役所」「市民に開かれた交流拠点」「次世代に誇れる市役所」の実現を目指します。

市民により便利な市役所

来庁者がどこに行けばよいか、がすぐにわかる総合案内の強化、利用者が多い窓口サービスの集約、きめ細やかな相談体制を充実するとともに、職員資質の向上と正確で迅速な事務処理を徹底します。



市民に開かれた交流拠点



明るく入りやすい空間や雰囲気づくりに取り組むとともに、市民との協働をさらに進める交流拠点を目指します。また、市民と議員の交流を促す仕組みづくりなどを通じ、市民に開かれた議会を目指します。

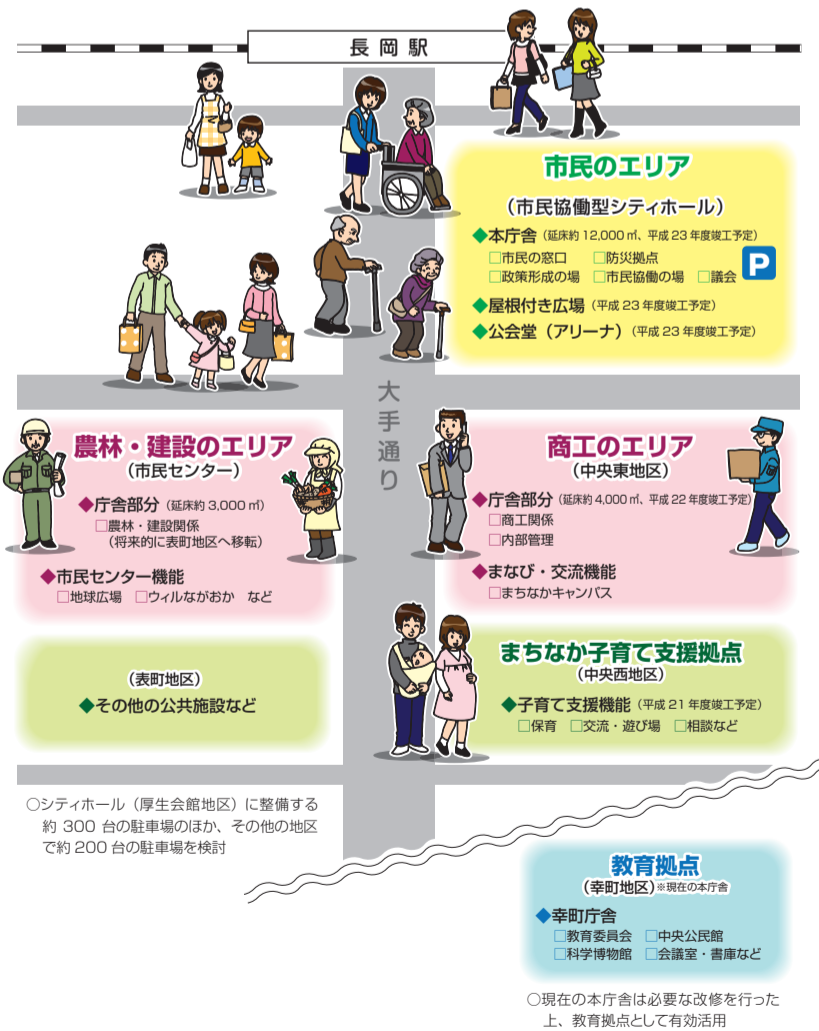
次世代に誇れる市役所

「日本一災害に強いまち」にふさわしい防災性、まちづくりを積極的にリードする先進性、将来への負担や維持管理コストを最小限に抑える経済性を兼ね備えた市役所を目指します。

行きやすい！利用しやすい！

現在の市役所の本庁機能を、まちなかの数カ所に集約配置し、多くの市民が集まりやすく利用しやすい市役所を目指します。

《まちなかの新しい市役所の配置イメージ》



より便利な窓口サービス

窓口は低層階に集約

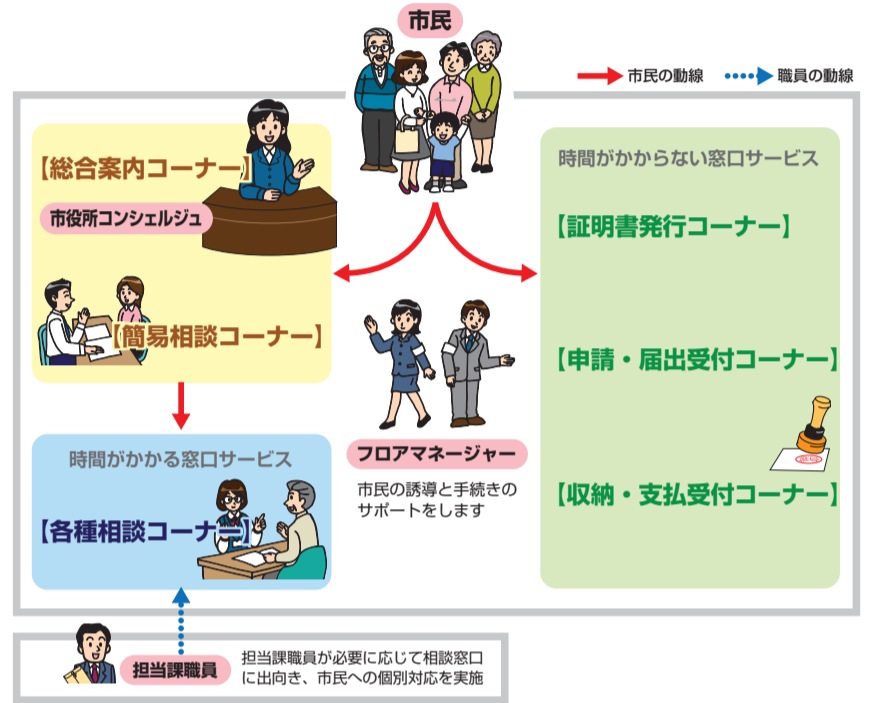
市民にとって身近で利用者の多い窓口サービスは、シティホールの低層階にまとめ、わかりやすく、スッキリと配置します。

しっかりサポート。来庁者を迷わせません

市役所で必要な手続き、利用できる制度を総合的に案内する「市役所コンシェルジュ (案内人)」や、目的の窓口へ誘導したり、書類の書き方などをサポートしたりする「フロアマネージャー」をシティホールに配置します。

また、専門的な知識が必要な個別相談は、担当課の職員が自ら相談窓口へ出向き、きめ細やかに対応します。

《市民協働型シティホールの窓口フロアのイメージ》



支所やその他の庁舎も、シティホールと同様にわかりやすく、利用しやすい窓口サービスを追求します。

利用は無料、駐車場を十分に確保

誰もが利用しやすいよう、自走式でゆったりスペースの駐車場をシティホールに約300台分確保。市役所利用者は一定時間を無料とします。その他の地区にも約200台分の確保を検討します。

バスなどの公共交通、徒歩や自転車についても、安全で快適にアクセスできる環境整備に積極的に取り組みます。



市民負担を最小に

庁舎移転の事業費は、国の補助金や合併特例債などを活用し、市の実質的な財政負担を約35億円に減らせる見込みです。

平成 23 年秋、シティホールオープン！

平成 21 年春ごろまでに設計を終えた後、建設工事に着手し、23 年秋ごろにシティホールをオープンする予定です。また、窓口サービスの見直しや職員の資質向上・意識改革など、プランの実現に向けたさまざまな取り組みに着手します。

◆どうなる？今の厚生会館

現在の厚生会館は今年の12月末まで使用し、来年2月から解体工事を行います。多くの市民に利用されている厚生会館の機能は、シティホールに整備する「公会堂 (アリーナ)」に引き継ぎます。また、工事期間中は代替施設を確保し、まちなかのにぎわいが途切れないようにします。

市役所本庁舎の移りかわり



明治 39 年の市制施行時



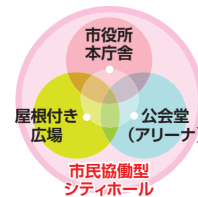
大正 10 年竣工



昭和 30 年竣工



昭和 52 年竣工



平成 23 年竣工予定の新しい市役所にぜひご期待ください！